



鳥取県立
倉吉総合看護専門学校

■ 助産学科 ■ 第1看護学科 ■ 第2看護学科



Kurayoshi General Nursing College Of Tottori Prefecture

学 校 紹 介



花木啓一 校長

本校は、鳥取県で唯一3学科を擁する総合看護専門学校です。それぞれのバックグラウンドをもつ学生がひとつの学び舎に集い、看護師、助産師を目指して勉学に励んでいます。在学中に学生は、豊かな人間性と専門的な知識・技術を修得し、地域の皆様の健康と福祉の向上に貢献できる看護職者となって巣立っていきます。

皆様の充実した学生生活に向けて、教職員一同で支援いたします。

■ 沿革

昭和 6年12月	鳥取県知事から看護婦養成所の指定を受ける
昭和25年 4月	厚生大臣から乙種看護婦養成所の指定を受ける
昭和39年12月	鳥取県立倉吉高等看護学院として進学コースによる養成を開始する
昭和52年 4月	鳥取県立倉吉総合看護専門学校として、保健助産学科・第1看護学科・第2看護学科の3学科による養成を開始する
平成21年 4月	保健師課程を廃止し、助産学科を設置する
平成23年 4月	第1看護学科定員を25人から35人に増員する 本校舎横に実習棟を新築する

■ 課程、学科、定員及び修業年限

課 程	学 科	定 員		修業年限	
		総定員	学年定員		
専門課程	看護学科	第1看護学科	105人	35人	3年
		第2看護学科	40人	20人	2年
	助産学科	16人	16人	1年	

本校は助産学科、第1看護学科、第2看護学科の3学科により保健・医療・福祉の現場で活躍できる人材を養成する総合看護専門学校です。

教育理念

豊かな人間性と専門的な知識・技術を有する看護職を養成することを教育の目的とする。生涯にわたって自己研鑽に努め、県民の健康と福祉の向上に貢献できる看護職の養成を目指す。

助産学科

- 性と生殖の専門家として助産師の立場から命の尊厳を学習



小学生を対象とした「命の教育」の実践

- 研究的態度・視点を学習するための学会参加



「日本子ども虐待防止学会 第25回学術集会ひょうご大会」に参加

- 臨床指導者による学内演習



実習施設の指導者による分娩助産技術演習

- 地域に密着した実習



地域で実施する出産準備教育に向け、学内で検討している場面

教育目的

生命や人格を尊重し
倫理に基づいた行動
ができる能力の育成

保健医療チームで
協働する看護実践能力
の育成

自律した専門職として
生涯自己の資質の向上
に努める人材の育成

看護学科

- 高齢者の生活や価値観を理解する実習



老人福祉施設でレクリエーションを企画・運営

- 少人数を活かした授業展開



日常英会話の授業風景

- 気づかひや価値観を大切に
した看護が実践できるためのOSCE
(客観的臨床能力試験)の導入



OSCEでの援助実施場面

- 領域別実習



ケアの充実のために指導者を交えた実習カンファレンス

- 医療チーム活動の見学実習



入学早期より、チーム医療の重要性を学習

助産学科

看護の基礎知識の上に、さらに助産師としての実践能力を養います。

助産師はウイメンズヘルスの支援者です。周産期の母子と家族にとどまらず、思春期・更年期の女性や不妊相談等、女性のライフサイクル全般にわたり支援できる能力を習得します。

講義と実習の統合により、幅広い分野で活躍できる専門性の高い助産師を育成します。



産褥期・新生児期助産技術学

学生同士で対象者役と助産師役となり、沐浴指導の演習を行っています。



分娩期助産技術学

分娩経過の診断に必要な知識を学び、臨地実習前には、分娩介助技術の習得に励んでいます。



心理演習

対象への支援の在り方をラベルワークを通して学んでいます。



助産学科

廣江 友花さん

助産師に必要な基礎的・専門的な知識を得ることができる講義に加え、実践を想定した演習により、状況に応じた支援について日々多くのことを学んでいます。支援の対象である女性から様々な場面で必要とされ活躍できる助産師になりたいです。



助産学科

日下部 朱音さん

実践的な演習やグループワークも多く、とても充実した学校生活を送っています。家事や育児との両立は大変なこともありますが、家族や仲間を支えてもらいながら学業に励んでいます。これまでの臨床経験も活かし、女性とその家族に寄り添い、家族の始まりを支えられる助産師になりたいです。



令和5年3月 卒業

足羽 真季さん

助産学科では、女性のライフステージ各期にわたる幅広い知識と技術を学ぶことができます。病院だけでなく、地域に密着した実習も充実しています。同じ夢を持つ仲間と学んだ1年間は私にとって宝物となっています。

INFORMATION

■本校の教育内容

2022年度より新カリキュラムです

教育内容		単位数
基礎助産学	性と生殖に焦点をあて、生涯を通じて対象を支援する助産に必要な基礎的能力を習得します。	7
助産診断・技術学	助産の実践に必要な基本的知識・技術・コミュニケーション能力の習得を図ります。	11
地域母子保健	多職種と連携・協働しながら、地域における子育て世代を包括的に支援する方法を学習します。	5
臨地実習	病院・診療所・学校・市町等で、助産に関する理論と助産技術の統合を図ります。	11
合 計		34

◆定 員／16名

◆修業年限／1年間

◆資 格／

- 助産師国家試験受験資格
- 受胎調節実地指導員の認定申請資格
- 新生児蘇生法「専門」コース(Aコース)

【主な実習先】

- 県立病院・市町村・子育て総合支援センター・診療所・小学校など

【主な就職先】

- 県内の公立病院・大学病院・民間病院・診療所
- 県外の公立病院・大学病院・民間病院・診療所

本学科の教育課程は本校のホームページをご覧ください

第1看護学科

看護の専門職として必要な知識、技術、態度を学ぶことにより、看護を実践するための基礎的能力を養うとともに、人間尊重の理念に基づいた看護活動の展開ができる看護師を育成します。

【アドミッションポリシー（入学受入れの方針）】

1. 人に関心をもち、人とのかかわりを大切に、思いやりと倫理観をもつ人。
2. 他者の意見に耳を傾け、自分の考えを適切に表現できる人。
3. 看護を学ぶために必要とされる基礎的学力と学習習慣を身につけている人。
4. 基本的な生活習慣を身につけている人。
5. 自ら学ぶ姿勢をもつ人。
6. 看護職を目指す者として、専門的知識や技術の修得に意欲を示す人。



第1看護学科 2年生
光浪 陽菜さん

同じ志を持った仲間と日々切磋琢磨しながら楽しく学校生活を送っています。基礎看護学実習では患者さんの回復過程に関わらせていただき、患者さんが回復されることが自分のことのように嬉しく、看護のやりがいを実感しました。心のこもった看護が提供できるよう、知識や技術、コミュニケーション力をさらに磨いていきたいです。



第1看護学科 3年生
倉本 漣さん

領域別実習を通して、個性のある看護を提供する難しさを感じています。1・2年次で学んだ知識や技術を活かし、患者さんに寄り添い「その人らしさ」を尊重した看護の実践を学んでいます。大変なこともあります。同じ看護師になる目標を持つ仲間と支え合い、実習指導者や先生方のご指導を受け日々頑張っています。



令和5年3月 卒業
杉川 愛希さん

学校生活は実習や試験等大変なことも多いですが、共に学ぶ仲間やサポートしてくださる先生方の存在により、充実した毎日を送ることができました。私は地域での実習を通して自分の住む町の現状を知り、地域に貢献できる看護師になりたいと強く思うようになりました。現在は実習していた病院に就職し、学生時代の経験を活かしながら日々頑張っています。

新1年生の集合写真



看護師としての知識や技術を身につけるために頑張ります！



臨地実習に向けて、基本的な技術を積み重ねていきます。

INFORMATION

◆定員 / 35名

◆修業年限 / 3年間

◆資格 /

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師、助産師学校受験資格
- 養護教諭養成課程受験資格
- 大学編入学受験資格

【主な実習先】

- 病院
- 特別養護老人ホーム、児童福祉施設、訪問看護ステーション

【主な就職先】

- 県内の公立病院、大学病院、民間病院
- 県外の公立病院、大学病院、民間病院

【主な進学先】

- 本校助産学科、大学専攻科等

■本校の教育内容

2022年度より新カリキュラムです

教育内容		単位数
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活・社会の理解	15
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度	25
専門分野	基礎看護学 地域・在宅看護論 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 看護の統合と実践 実習 基礎看護学実習 地域・在宅看護論実習 成人老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 統合実習	69
合	計	109

本学科の教育課程は本校のホームページをご覧ください

第2看護学科

准看護師資格をもとに、より専門的な知識・技術を身につけ、看護師の資格を取得するための教育課程です。

看護の専門職として必要な知識、技術、態度を養うとともに、人間尊重の理念に基づいた看護活動の展開ができる看護師を育成します。

准看護師の資格を取得した後、幅広い年齢層の仲間が、向上心に燃え、共に協力しあいながら看護師を目指しています。卒業生は県下の医療機関を中心に活躍しています。看護師資格を取得したいあなたの情熱を支援し、夢の実現に向けて応援します。



准看護師養成施設での学びを更に深め、看護師に必要な知識・技術の習得に取り組んでいます。



第2看護学科 1年生
玉木 晴佳さん

様々な年齢やキャリアを持ったクラスメイトが集まり、看護の知識や技術を深めています。グループワークやフィールドワークなどの実践的な授業も多く、クラスの仲間と協力しながら勉学に取り組んでいます。また、少人数だからこそ仲間と一致団結し、同じ目標に向かって充実した学生生活を送っています。



実習に向けて、学生自身が主体的に計画を立て、知識の確認と技術の練習に取り組んでいます。



第2看護学科 2年生
山口 裕果さん

専門的知識や技術を身につけるため、講義や実習と2年間で学ぶことは多くあります。また、学校と家庭の両立は極めて大変ですが、教員や指導者からの支えもあり、クラスメイトと楽しく充実した学校生活を送ることができています。必要とされる看護師を目指し、日々精進し学びを深めています。

INFORMATION

- ◆定員 / 20名
- ◆修業年限 / 2年間
- ◆資格 /
 - 看護師国家試験受験資格
 - 保健師、助産師学校受験資格
 - 養護教諭養成課程受験資格
 - 大学編入学受験資格

【主な実習先】

- 病院
- 訪問看護ステーション、児童福祉施設

【主な就職先】

- 県内の公立病院、民間病院
- 県外の公立病院、民間病院

■本校の教育内容

2023年度より新カリキュラムです

教育内容	単位数
基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	9
専門基礎分野 人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度	18
専門分野 基礎看護学 地域・在宅看護論 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 看護の統合と実践 実習 基礎看護学実習 地域・在宅看護論実習 成人老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 統合実習	50
合計	77



令和5年3月 卒業
森 日佳理さん
門脇 朋美さん

4月から、興味を持っていた診療科がある病院で勤務しています。高齢者が多い患者層の中でも疾患や症状は様々ため、一人ひとりに合わせた援助やケア

ができるよう、日々先輩看護師のサポートのもと学び、地域に根ざした看護ができるよう心がけています。特に、授業や実習を通しての疾患の理解、患者さんの生活背景を知ること、また、チーム医療の重要性についての学びは今に活きていると感じています。

本学科の教育課程は本校のホームページをご覧ください

学 校 生 活



オープンキャンパス

在校生や教員の指導により、モデル人形でモニター装着や聴診技術の体験をしています。



宣誓式

学生が看護をこころざすものとしてより深く学ぼうと決意を新たにするセレモニーです。



交流会

クラスの団結や学年を超えてのきずなが深まるよう学生主体で企画・運営をしています。



教科外では3年ぶりに茶道の時間を再開しました。感染対策を講じながら‘おもてなしの心’を学んでいます。

【入学時の必要経費】

(2023年度の経費であり変更になることもあります。)

- 入 学 料 5,550円
- 授 業 料 9,400円 (月額)
- 後援会費 9,400円 (年額)
- その他経費 学年ごとに納入していただきます。

【卒業までに必要な経費概算】 (単位: 円)

項 目	助産学科 (1年間)	第1看護学科 (3年間)	第2看護学科 (2年間)
テキスト代	130,000	210,000	170,000
教材費	100,000	35,000	15,000
国家試験関係費	60,000	75,000	65,000
研修費	80,000		
その他	10,000	13,000	17,000
合 計	380,000	333,000	267,000

※上記以外に
入学後、白衣・実習靴 (35,000円程度)、臨地実習のための交通費
(40,000円程度)、予防接種費用等は自己負担となります。

奨学金・修学資金貸付制度

- 日本学生支援機構奨学金
- 鳥取県看護職員修学資金

【施設概要】

●学生寮

- ▶ 寄宿舎「若葉寮」 定員61名
- ▶ 通学困難等の理由で、女性に限り入舎できます。
- ▶ 室料は無料ですが、光熱水費及び共通経費は個人負担となります。

●校 舎

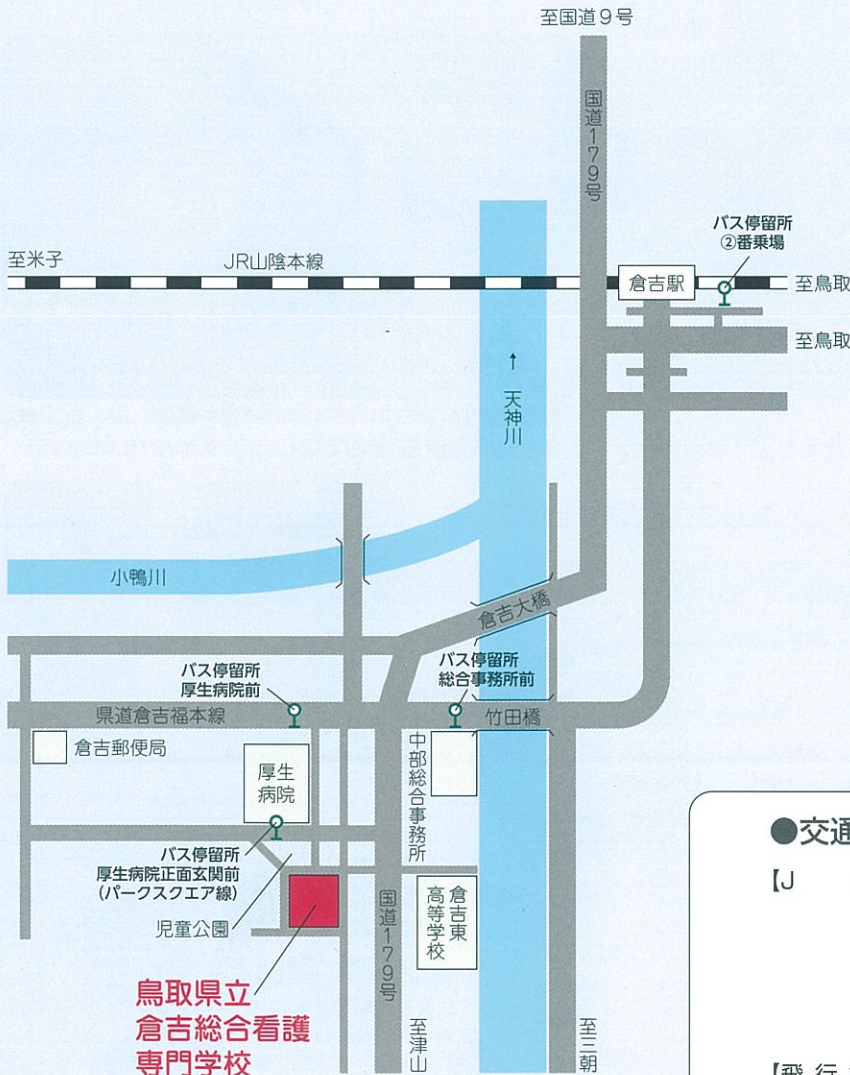
* 敷地内は全面禁煙です。



※鳥取県立倉吉総合看護専門学校の
ホームページもご覧ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/kurayoshikango/>

■ アクセス



● 交通手段

- 【J R】鳥取 ▶ 倉吉 / 快速40分
- 米子 ▶ 倉吉 / 快速40分
- 倉吉駅からバス10分
- 厚生病院前下車、徒歩10分
- 厚生病院正面玄関前下車、徒歩3分
(パークスクエア線)

【飛行機】東京 ▶ 鳥取 / 約70分 1日5便

【特急バス】大阪(神戸) ▶ 倉吉 / 4時間

鳥取県立倉吉総合看護専門学校

〒682-0805 鳥取県倉吉市南昭和町15番地

TEL (0858)22-1041 FAX (0858)23-5953